

平成 26 年介護等体験談

特別支援学校<堺聴覚支援学校>

2 日間、堺聴覚支援学校でお世話になりました。初めはどうしたらいいのか不安だらけでしたが、優しい先生方と明るい生徒、仲間がいたおかげで乗り切ることができました。1 日目の授業見学の時にいろいろな授業を見て、先生と生徒の信頼関係の結びつきの強さに驚きました。少人数制の授業だからこそできる、個々に応じての指導に対して非常に良いなと感じました。

先生も生徒も楽しそうに学習していて本当にみんなが生き生きしていました。授業見学の際に気づいたことは、子どもたちの性格というのは本当に様々だなということです。大学生の私達が来て、うれしそうに話しかけてくれる子、いつも以上に授業にやる気が出てどんどん手を挙げる子、緊張しすぎて固まってしまう子というように生徒一人一人違った対応を見せてくれました。昼食の時も隣の男の子が全く目も合わせてくれずに固まっていたので、どうにか打ち解けてもらおうと思いましたダメでした。

次は絶対話せるようにしようと心に決めて 2 日目。午前中は体育祭の予行を見学しました。練習だけれど、みんな一生懸命取り組んでいました。自分の担当のクラスの子たちが、リレーに出ている時は私も頑張って応援して、勝った時は自分のことのように喜びました。用具の手伝いは大変だったけれど、予行がスムーズに行えるようにするためにも頑張りました。

午後からは 1 時間、6 時間目に交流会でする遊びのルール表を作ったり、自己紹介の手話の練習をしたりしました。グループで必死に考えました。そして本番。自分の担当のクラスの子ともう一つのクラスでドッジボールをして、まずクラスで協力しました。私のクラスは全員男の子だったのですが、みんな本当に真剣で楽しそうでした。次にリーダーは誰だ？ゲームをしました。1 日目では全く話してくれなかった男の子がとても元気そうに話しかけてくれてうれしかったです。やっと打ち解けてくれたのでホッとしました。やっぱり自分が相手に話しかけると、どんどん距離が縮むんだと実感しました。

短い間ですがたくさん生徒と出会えて良い思い出ができました。